

IPO銘柄 ヤマシンフィルタ (6240・東証2部)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6240	100株	公募: 30.00万株 売出: 21.00万株 (OA7.65万株)	2,700円~2,800円 (9.7倍)	野村証券



建設機械用油圧フィルタが主力

■ 事業内容

建設機械用油圧フィルタが主力。建機の駆動に不可欠な油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過に用いられる。産業用でも工作機械や冷凍用圧縮機、農業機械、また、電子部品や精密部品向けのプロセス用フィルタなども手掛ける。フィルタは交換需要の発生する部品であるため、機械が稼働する限り、一定のリピート需要が見込める。15年3月期第1四半期(14年4~6月)の売上高構成比は、建機用フィルタが90.1%、産業用フィルタが3.9%、プロセス用フィルタが6.0%。

■ 特徴

建設機械の高機能化に伴いフィルタ製品の採用が拡大しており、特に油圧回路は機械駆動に大きな役割を担っている。同社はフィルタの性能を決定する、ろ材開発機能を自社で有しており、顧客に合わせた開発を単独で完結することができる。

アナリストコメント

■ 定量分析

15年3月期の連結経常利益は前期比11.1%増の7億8,700万円を計画する。国内は排ガス規制に伴う駆け込み需要の反動減に見舞われているが、欧米は堅調。油圧ショベル作動油回路用に加え、燃料用フィルタも投入しラインアップを拡充するなど、取り組みを加速させている。

■ 定性分析

成長イメージを描きづらい業態で、上場市場も初値が大きく上昇しづらい東証2部市場となっている。IPOマーケットは活況だが、人気を集めているのはあくまで需給妙味のある案件やネット株。初値買い意欲が大きく盛り上がるシナリオは描きづらそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約16億円。東証2部上場案件としては軽量感のある規模で、ベンチャーキャピタル保有株はあるものの、大半にはロックアップ条項が付されている。需給面への不安は小さく、下値不安は乏しそうだ。
(小泉健太)

■ 類似企業

ヤマシンフィルタ(6240・東証2部)	予想PER9.7倍 (仮条件上限)
シンニッタン(6319・東証1部)	予想PER12.0倍
SPK(7466・東証1部)	予想PER10.3倍

■ 引受証券

野村証券、SMBC日興証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、いちよし証券、大和証券、SBI証券、SMBCフレンド証券、岡三証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
13年3月期(実績)	9,088	—	-69	—	-253	—	-149.4	24.0
14年3月期(実績)	10,530	15.9	709	黒転	336	黒転	198.5	40.0
15年3月期(会社予想)	11,069	5.1	787	11.1	530	57.6	288.6	56.0

※13年3月期から連結決算。

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
13年3月期	1,696,500	8,105	4,426	335	2,609.2	54.6	—
14年3月期	1,696,500	8,635	4,852	335	2,860.3	56.2	7.3

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	やまびこホールディングス	851,865	50.21
2	山崎 敦彦	201,622	11.88
3	山崎 敬明	127,161	7.50
3	山崎 裕明	127,161	7.50
5	NIFSMBC-V2006S3投資事業有限責任組合	80,250	4.73
6	三井住友銀行	50,000	2.95
7	三菱UFJキャピタル2号投資事業有限責任組合	36,000	2.12
8	山崎 一彦	32,292	1.90
9	NIFSMBC-V2006S1投資事業有限責任組合	27,750	1.64
10	野村證券	25,000	1.47

経営陣

役職	氏名
代表取締役 社長	山崎 敦彦
取締役 開発営業本部長	大越 和弘
取締役 管理本部長	鷹野 徹
取締役 生産本部長	石丸 誠
取締役	中村 正夫
取締役	田中 義敏
常勤監査役	鴨頭 斉
監査役	宮艸 哲
監査役	小林 英明
監査役	福崎 真也

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会